

**株式会社 桜ゴルフ**  
 東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階  
 (銀座4丁目交差点より1分)  
 銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】  
 ☎ 0120-83-5021  
 本社営業部 03-3572-8511  
 伊勢丹新宿店 03-3358-9181  
<http://www.sakuragolf.co.jp>

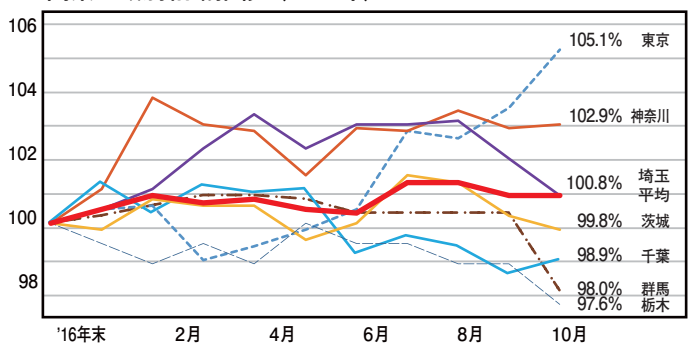


草分けとしての使命をー  
佐川 八重子

西南地域が 関東相場を牽引

10月の会員権市場では注量がやや減少したものの、相場は買いが先行する安定した推移をたどりました。10月の平均相場は低額価格帯が下振れしたことで▲0.2%となりましたが、年初比1.1%の値上がりを確認しています。平均相場が依然として高いポジションを維持している要因を地区別の動向から探ると、西南地域の東京、神奈川、埼玉の近郊3地区の値上がりが寄与しています。この3地区の年初比値上がり率は東京5.1%、神奈川2.9%、埼玉0.8%で、中でも東京の伸び率の高さが目立ちます。東京は小金井、八王子、多摩が値上がりし、名門コー

関東地域別相場推移 (2017年)



スの値下がりや落ち込んだ昨年から一変しました。神奈川では相模原、磯子、厚木国際、平塚富士見など名門や準名門、埼玉では名門に次ぐ東松山、高麗川、高根など優良中堅コースが値上がりを牽引しています。反面、東北地域の茨城、千葉では一部の名門の値上がりはあるものの低額コースの値下がりにより足を引っ張られ、また群馬、栃木は遠隔イメージから更に値下がりや余儀なくされています。

近年、名義書換料や入会預託金といった入会諸費用を軽減する動きが目立ちます。かつて会員権相場の10〜20%が目安とされていた入会諸費用は、バブル期の相場高騰に伴って値上げされましたが、バブルの崩壊で相場が下落に転じた後も見直しが進んでいません。現在では関東圏546コースの平均入会諸費用は会員権価格の82%の水準で、約72%に当たる391コースでは入会諸費用が会員権価格を上回る状態です。

5年前に東松山が入会諸費用を値下げしたことで入会が活発化し会員の活性化が進んだのを皮切りに、一部の名門や中堅コースで入会諸費用が引き下げられ始めました。今年8月には小田急電鉄系の富士小山が名義書換料50%引き下げを断行したところ、

法人の都心に近い名門及び準名門コースの活発な買いや、中堅及びお手頃コースを中心に求める個人の近場志向が地区別の明暗を分けています。

効果大きい 入会諸費用の軽減

効果大きい 入会諸費用の軽減

主な入会諸費用軽減コース (正会員・税別)

開始月	コース名	入会諸費用の改定	軽減率	改定前 最安値	改定後 最高値	倍率
H29/8	富士小山	名変料: 100万円 → 50万円	50%	60万円 (H29年6月)	100万円 (H29年9月)	1.7倍
H28/7	日本	名変料: 120万円 → 60万円	50%	40万円 (H28年4月)	120万円 (H29年10月)	3.0倍
H26/1	八王子	名変料: 200万円 預託金: 300万円 → 200万円	20%	40万円 (H25年2月)	150万円 (H29年9月)	3.75倍
H24/5	日高	名変料: 100万円 預託金: 200万円 → 100万円	33%	200万円 (H23年12月)	400万円 (H25年5月)	2.0倍
H24/3	立川国際	名変料: 100万円 → 70万円 預託金: 150万円 → 70万円	44%	15万円 (H23年12月)	70万円 (H25年5月)	4.7倍
H24/1	東松山	名変料: 200万円 → 100万円 預託金: 100万円 → 50万円	50%	10万円 (H23年11月)	200万円 (H25年4月)	20.0倍

会員権相場は2倍近くに跳ね上がり、話題になっています。利用頻度の高い会員が増えるなど効果が現れ始めています。ゴルフ場にとっては名義書換や利用者の増加による経営健全化、会員にとっては左表の事例でもわかるように相場の値上がりによる資産価値の向上がもたらされます。入会諸費用軽減のさらなる広がりが望まれます。